

Joyful Life Bible Studies

クリスマスの喜び

2003年

第1日目：ルカ2：10、11を読みましょう。

1. 今年のクリスマスの学びのタイトルは、クリスマスの喜びです。ここにルカ2：10、11を書くことによって、この喜びを定義しましょう。

ア. このニュースが、なぜ、あなたにとってすばらしい喜びの源なのでしょう？

2. 本当のクリスマスの喜びは、私達の救い主、イエス・キリストの誕生に中心を置いています。この世の影響と、私達自身のクリスマスの準備の忙しさのために、この中心を保ち続けることはしばしば困難です。クリスマスの本当の目的に集中し続けるために、あなたを助ける方法を短く分かち合いましょう。
3. 彼の誕生の不思議について、そしてそれがどのようにあなたの人生を変えたかについて、しばらくの間考えましょう。あなたのクリスマスの準備として、あなたがこの学びをする時に、この不思議があなたを覆うようにしましょう。あなたの祈りをここに書きましょう。

私はこの民全体のための
すばらしい喜びを知らせに来たのです。
きょうダビデの町（ベツレヘム）で・・・救い主がお生まれになりました。
ルカ2：10b、11

第2日目：ルカ1：26-56を読みましょう。

1. 時として、その奇跡がとても馴染み深くなってしまい、私達はそれが私達の人生に与えるべき衝撃を失ってしまいます。あなたがここにイザヤ7：14を書く時、多くの預言のひとつをじっくりと考えましょう。

ア. イザヤ7：14を考えながら、ルカ1：27-34を読みましょう。これに対するあなたの反応は何ですか？

2. ルカ1：26-38は予告告示として言及されています。これらのみことばを探究する際に、あなた自身をマリヤの立場に当てはめてみましょう。天使の啓示に対する彼女の応答を記録するために、次の参照を用いましょう。

ア. ルカ1：26-29

イ. ルカ1：30-37

(1) ルカ1：38に記録されているマリヤの応答の中に、彼女の完全なるコミットメント(献身)を熟考しましょう。それをここに書きましょう。

(ア) 主の手造り作品として、これはあなたにとってどのような例でしょう？

3. そのころ、立って、急いで、彼女のいところであるエリサベツに会いに行ったマリヤについて行きましょう。そして、ルカ1：39-45を読むことによって、この不思議な出会いを見ましょう。エリサベツを訪問したことによって、マリヤはどんな励ましを受けたでしょう。

ア. ルカ1：46-55のマリヤの賛美は、「マグニフィカト/大きくあがめる」と呼ばれています。あなたが個人的に主を大きくあがめるために、これらの節から言葉、言い回しを選びましょう。

4. マタイ 1:18-25 を読んで、ヨセフと共に歩みましょう。これらの節の中の、特にどの出来事が、最もあなたを驚かせますか？

ア. マタイ 1:21 で、天使によってヨセフに与えられた名前に注目しましょう。愛を持ってそれをここに記しましょう。

(1) 21 節の後半は、彼の名前のどのような意味を表わしていますか？ セラ

イ. マタイ 1:22、23 はこの出来事に関するどのような説明を与えていますか？

(1) インマヌエルという名前の意味を記録しましょう。

(ア) このクリスマスの時期、この名前はあなたにとってどのように意味がありますか？

第3日目：ルカ 2:1-7 を読みましょう。

1. ミカ書 5:2 にある、キリストが生まれる数百年前に与えられたミカの預言を読むことによって、今日の学びを始めましょう。ミカは彼がどこで生まれると言いましたか？

ア. ヨセフとマリヤは、ベツレヘムの約 80-100 マイル北にある町、ナザレに住んでいました。ヨセフはなぜ、マリヤが身重になっている時に、ナザレからベツレヘムに行ったのですか？ルカ 2:1-5

上級生用：全世界が徴税されるべきだという勅令を作ることができた、皇帝アウグストとは誰だったのでしょうか？

2. マリヤがナザレからベツレヘムに旅した時の不快を想像してみましょう。あなたは、聖書がマリヤがロバに乗ったとは言っていないことを思い出すでしょう。彼女は歩いたのかもしれませんが。ルカ 1:28 は私達に、マリヤは神に恵まれた者で、主が彼女と共におられたと言っていますが、彼女は困難から取り除かれていたわけではありません。主が共におられるということを知っていることが、彼女をどのように保証し、確信させたのでしょうか？

3. 私達のクリスマスのお祝いの全ては、聖書の中の 1 節に集中しています。この御言葉なしでは、私達には喜びの理由がありません。ルカ 2:7 をここに書くことによって瞑想しましょう。

ア. 全世界に対する神の贈り物が、どのように包まれていたかを叙述しましょう。

イ. ルカ 2:7 の最後の文章に、しばらくの間注目しましょう。世は自分達の興味／関心事に占領されており、キリストが誕生した時、世には彼のための場所がありませんでした。このことは私達の心を悲しませます。このクリスマス、満室だった宿屋が、あなたにどのように語りかけるかを分かち合しましょう。

しかし定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わした。
ガラテヤ 4:4a (新改訳)

第4日目：ルカ 2:8-20 を読みましょう。

1. 救い主がお生まれになった聖夜は、その他のどんな夜のようにもありませんでした。ルカ 2:8-15 を用いて、何が特別な方法でああなたの注目を引くでしょう？

ア. その夜、羊飼いの一人であったとしたら、どのようにであったかを考えてみましょう。一語もしくは二語で、この経験を述べましょう。

イ. 羊飼いや、彼等が受け取ったイエスの誕生に関する情報を、主の御使いや多くの天の軍勢の手柄にしなかったことに気付いて下さい。彼等はこのことを知らせてくださったのが誰であったと言っていますか？ルカ 2:15

2. ルカ 2:16-20 を読んで、野原からベツレヘムへと羊飼いや達について行きましょう。彼等はそこで何を見つけましたか？16 節

ア. 彼等の応答は何でしたか？17 節

3. 羊飼いや達はクリスマスのお話の奇跡を発見し、それを自分達だけにとどめておくことができませんでした。あなたは彼等の例にどのようにならうことができますか？あなたのアイデアをグループ内で分かち合しましょう。

世界に喜びがありますように。主が来られました。
地球がその王を受け取りますように。
I. Watts

第5日目：ルカ2：21～38を読みましょう。

1. 律法に従って指定された時期に行われた御子の割礼の後、マリヤとヨセフはイエスを主にささげるために神殿に連れていきました。(ルカ2：21～24) その重大な日、そこに二人の献身した神のしもべがいました。次の節からあなたが学んだことを要約しましょう。

ア. シメオン - ルカ2：25～28

- (1) ルカ2：29～35にあるシメオンの驚くべき宣言をじっくりと考えましょう。どの宣言が最もあなたにとって浮かび上がるものですか？なぜですか？

イ. アンナ - ルカ2：36～38

- (1) アンナの主に対する献身と専念について、余念なく注目しましょう。このクリスマスに彼女の人生は、あなたにとってどのように模範となりますか？

2. シメオンとアンナは、主キリストと彼が来た目的を認識しました。そしてそれが彼等にすばらしい喜びをもたらしました。イエスが来られた目的についてを言及するみことばがたくさんあります。次の聖句から一つもしくはそれ以上を選び、これについて何と宣言しているかを書きましょう。

ア. ヨハネ3：16、17

イ. ガラテヤ1：(3)、4

ウ. 第一ヨハネ4：9、10

エ. これらの聖句はあなたのクリスマスの喜びをどのように豊かにしますか？

選択問題：マタイ2：1～9を読みましょう。ユダヤ人の王を探す博士たちと共に出かけて行きましょう。彼等の長い困難な旅は、長くて2年間程かかったかもしれません。神がどのように星、ヘロデ、彼等の贈り物を用いたかをあなたが見る時に、驚くべき不思議を発見しましょう。

3. マタイ 2 : 10、11 からの文章をあなたがここに書く時、博士達の喜びと驚き中に入りましょう。

ア. あなたはこの喜びをどのようにして 2003 年のクリスマスに持ち込むことができますか？

彼に乳香、黄金、没薬を持っていきなさい。
病のある者、貧しい者は、彼を所有するために来なさい。
王の王が救いを持ってきた。
愛ある心が彼に王冠をかぶせよ。
W.D.

第 6 日目：復習

1. クリスマスの喜びのテーマを考えながら、あなたのクリスマスの物語の学びに反映してみましよう。これがあなたにどのようにクリスマスの喜びを運んだかを分かち合いましよう。
2. マリヤは喜びました。羊飼いだも喜びました。そして博士達も喜びました。キリスト誕生の良いニュース（福音）を体験した人達の共通した反応が、なぜ喜ぶことであったとあなたは思いますか？
3. あなたの家庭や家族の中で、クリスマスの喜びを維持することができる実用的な方法を分かち合いましよう。
4. クリスマスが近づくにつれ、贈り物に対する集中があるように、あなたの心を贈り物に集中させましよう。あなたに対する彼の贈り物を光にして、このクリスマスにあなたが彼に与えることができる最も重要な贈り物は何であると思いますか？

天国からあなたは来られた。無力な赤子として。
私達の世界に入ってきて下さった。あなたの栄光を覆って。
これが私達の神。仕える王。
彼は今、ついてきなさいと私達を呼ばれる。
私達の人生を、仕える王への日々の礼拝の捧げ物として持ってくるように。
G.K.

“クリスマスの喜びと祝福がありますように。”